

生きて いる 植物 標本 の タネ

Living Seeds from
Botanical Specimens

2024

2/10 (土) sat ▶

3/24 (日) sun



新潟大学
旭町学術資料展示館
Niigata University Asahimachi Museum

主催:新潟大学旭町学術資料展示館・新潟大学植物標本庫
共催:新潟大学教育学部・北海道大学総合博物館・東北大学植物園



PLANTS OF JAPAN
Faculty of Education, Niigata University

マメ科 [Leguminosae]

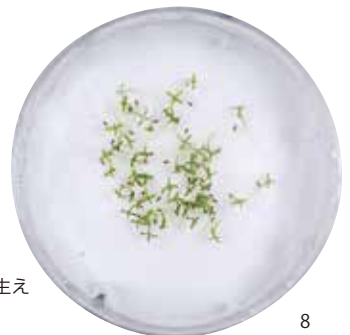
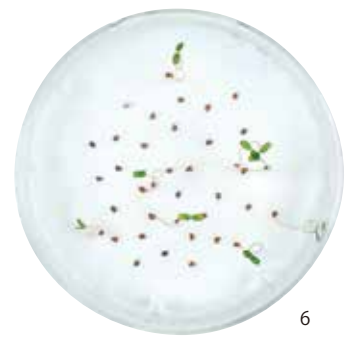
イヌハギ
Lespedeza tomentosa (Thunb.) Siebold ex Maxim.

Loc.: 新潟県 新潟市西区五十嵐2の町 新潟大学五十嵐キャンパス
Pref. Niigata; Niigata University, Ikarashi-nino-cho, Nishi-1
Niigata-shi. Alt. 20-30 m

37.87°N 138.94°E

Date: Oct. 29, 2012
Coll.: Takashi Shiga No. 7105
Note: 教育学部～大学の森





植物標本は生きている

植物標本庫には、100年以上前から現在までに採集された膨大な数の標本が収蔵されています。この中には、都市化などにより失われてしまった種や集団の標本も残されており、種子が未だに生きているものも含まれていることがわかってきました。植物標本に残された種子や胞子の発芽可能性に関する最新の研究成果に加えて、植物標本が持つ学術価値や可能性について紹介します。

- 1 イヌハギ(マメ科)の標本と果実
- 2 まき出したイヌハギの標本の果実と芽生え
- 3 新潟大学植物標本庫
- 4 植物標本(標本はヒメコウホネ)
- 5 標本のタネをまき出す様子
- 6 コミカンソウ(コミカンソウ科)
- 7 ナガバギシギシ(タデ科)
- 8 キクモ(オオバコ科)
- 9 ピロードモウズイカ(ゴマノハグサ科)
- 10 ミヤコグサ(マメ科)

🔍 ギャラリートーク「植物標本のタネと生物保全」

2024年2月24日(土) 14:00~15:00

会場:新潟大学旭町学術資料展示館 2F

定員:20名

参加無料・要申込

申込締切:2024年2月23日(金・祝) 12:00

講師:志賀 隆(新潟大学教育学部 准教授)

植物標本のタネと、タネを用いた生物保全の取り組みをスライドと実物の標本資料をお見せしながら解説します。植物標本の作り方、保存方法もあわせてご紹介します。

参加方法: ①参加申込フォーム(右QRコードより)
②電話(025-227-2260まで)



 **新潟大学**
旭町学術資料展示館
Niigata University Asahimachi Museum

〒951-8122 新潟市中央区旭町通2番町746 TEL.025-227-2260
2-746 Asahimachi-dori Chuo-ku Niigata

開館時間:水~日曜日 10:00~12:00, 13:00~16:30

休館日:月・火曜日 入館料:無料 駐車場:5台

Opening hours: Every Wed to Sun 10:00~12:00, 13:00~16:30 / Admission free



 真の強さを学ぶ。
新潟大学
NIIGATA UNIVERSITY

75th
NIIGATA UNIVERSITY

www.lib.niigata-u.ac.jp/tenjikan/



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。